



# 光 和

7月号

練馬区立光和小学校

令和7年6月30日

光和小  
携帯サイト



## 継承と発展

校長 矢島 直行

早いもので1学期も残り3週間となりました。これまでの学習や行事を通して、子供たちの成長した姿を見ることができます。先日6年生は軽井沢移動教室に行ってきました。3日間の生活を通して多くのことを学ぶことができました。子供たちの宿舎内でのマナーや話を聞く姿勢は大変立派で、宿舎の方からも褒めていただきました。移動教室のときだけ頑張ることができることではありません。日頃からの積み重ねの成果です。

さて、学校には多くの木があります。その中でもジャングルジムの側に大きく立派な桜の木があります。春には美しい花を咲かせ、毎年子供たちの入学を祝ってくれています。長い間、子供たちを見守り、光和小学校の70年間の歩みを見届けてきたかのような木です。その桜の木が練馬区の調査により、倒木の恐れがあり伐採することになりました。立派な木をこれからも見続けていきたいという思いはありますが、子供の安全を第一に考えていかなければなりません。寂しい思いがあります。一方、学校には正門の側にコロナ禍1年目の年に移動教室が中止になった6年生が記念に植樹した桜の木があります。6年前はまだ小さく細かった木でしたが、今は一回り大きく成長しています。新しく植えられた桜の木は、それまでのソメイヨシノからジンダイアケボノに品種が変わりました。ジンダイアケボノはソメイヨシノの病気の弱さを補い、花の色が濃く、見た目もソメイヨシノに似ていることから、ソメイヨシノの代替品種として注目されています。新たに引き継がれていく新しい桜の木は、これから10年、20年と光和小学校の子供たちのことを見守ってくれることと思います。

今、6年生はマーチングの練習に取り組んでいます。マーチングが光和小学校で始まったのは、2017年の運動会からでした。それまでの組体操から新たな種目をと考えたのがマーチングです。演奏する「ルパン三世のテーマ」は、マーチングが始まった時の曲です。子供たちはこれまでの6年生が演奏する「ルパン三世のテーマ」を聴いて、自分たちが6年生になったらこの曲を演奏するんだという思いをもって引き継がれてきました。もう一曲演奏する曲は、その時々学年が選曲します。今回は、「ライオン・キングメドレー」です。その中の「サークル・オブ・ライフ」は、ライオン・キングで最初に歌われる楽曲です。「永遠の生命が刻まれる、生命の円環、すべての生物に流れる命」「命は巡り、自然界の命が大きな輪になっている」という壮大なテーマです。本年度、開校70周年を迎える本校にはまさしくふさわしい曲です。これまでの曲を引き継ぎながらも新しい曲に挑戦していくマーチングを楽しみにしています。

6年生は「学校の顔」と言われるように、全校の子供たちにとって憧れの的ですが、6年生の姿を下級生はしっかり見えています。6年生の成長した姿は1年間だけで身に付くものではありません。1年生から積み重なって培っていきます。1年生から5年生の子供たちが6年生になったときに立派な姿を見せる繰り返し、学校をさらに高めていくことにつながります。これからもよき伝統を受け継ぎながらも時代の変化に対応した変革、挑戦に取り組み、光和小学校がさらに発展するように努めてまいります。